

秋田大学アカデミック家庭医療・総合診療医プログラム

定員
2名



プログラム責任者
総合診療・検査診断学講座
廣川 誠 教授

専門研修担当者先
植木 重治 准教授
TEL.018-884-6209 FAX.018-884-6209
E-mail shigeh@hos.akita-u.ac.jp
HP <http://www.med.akita-u.ac.jp/~gimclm/>



プログラムの特徴

「秋田大学アカデミック家庭医療・総合診療医育成プログラム (FMGIM-AU) は、病院・診療所などで幅広い診断・治療能力を持つ総合診療専門医を養成するとともに、将来アカデミアにおける後進の教育および研究推進を担当できる人材を育成するために創設されました。日常遭遇する疾病と傷害等に対して、適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供し、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看とりなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組み、絶えざる自己研鑽を重ねながら人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応できる総合診療専門医を育成します。

プログラムの説明

本プログラムの1年あたりの定員は2名です。本プログラム最大の特徴は、1年目の研修開始時より社会人大学院生として大学院に入学し、臨床疫学、または当医局の研究テーマである免疫疾患・感染症疾患の研究を行うことで、4年間の研修プログラム終了時には医学博士の学位の取得が可能なお事です。研修修了時には、総合診療専門医としての診療を行うのみならず、アカデミックな視点からの問題解決能力・後進の教育を行える人物の育成を目指しています。

研修の1年目は秋田大学医学部附属病院、または秋田赤十字病院にて内科6ヶ月、救急科3ヶ月、小児科3ヶ月をローテーションし、基本的な医療知識・手技・技術、そして疾患マネジメントを身につけます。

2年目、3年目は県内または千葉県の基幹病院（総合診療研修II）、地域病院または千葉県のファミリークリニック（総合診療研修I）にて、地域に密着した形での診療を通じて、社会・地域に根ざした医療を提供

し、公衆衛生の向上につとめるといふ総合診療専門医に求められている研修を行います。

4年目には秋田大学医学部附属病院にて、自分の修練に特に必要と考えられる分野の研修などを行い、総合診療専門医として必要とされる能力の最終的な獲得を目指します。総合診療専門医は、地域の医療の全ての側面に関わる医療者であり、臨床能力のみならず、学術的な知識・思考能力も必要となります。希望者はプログラム開始時より社会人大学院生として、診療のみならず、疫学的研究、基礎的研究にも参画できる能力を発揮することになります。国際学会への参加・発表や英文での論文作成を推奨します。

専門医、指導医、出身地、施設認定、関連施設など

■各種学会認定専門医数

日本プライマリ・ケア学会認定医（指導医）：6名、日本内科学会 総合内科専門医（指導医）：3名、認定内科医（指導医）：2名、日本アレルギー学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会専門医、日本感染症学会専門医、日本腎臓学会専門医、日本リウマチ学会専門医ほか多数の専門医資格を含む

■各種学会施設認定

日本プライマリ・ケア学会、家庭医療後期研修プログラム認定施設

■医局員の主な出身大学

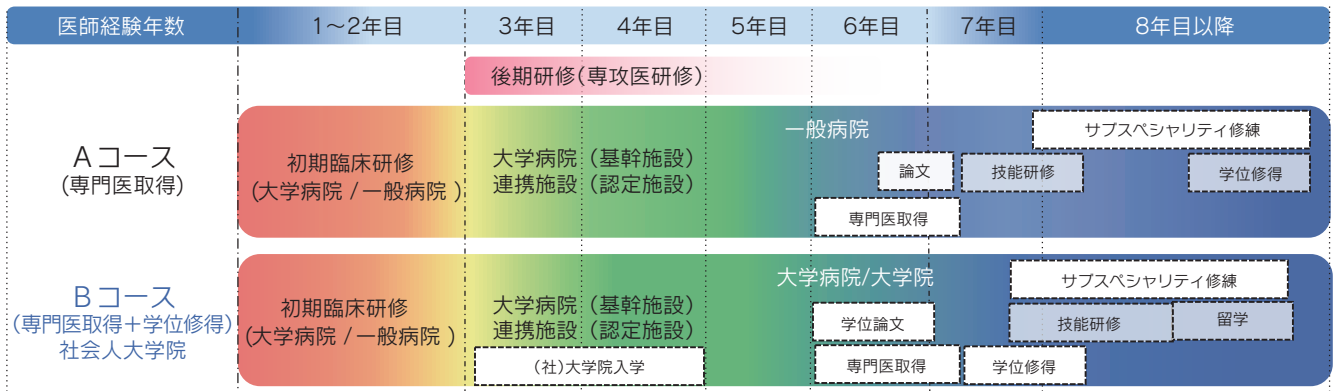
秋田大学、東北大学

■主な連携病院

秋田厚生医療センター、秋田赤十字病院、湖東厚生病院、藤原記念病院、市立大森病院、亀田ファミリークリニック館山（千葉県）



取得までのキャリアパス



◆主要なサブスペシャリティ（予定）：家庭医療専門医、感染症専門医 など